

2017 年度私立大学図書館協会研究助成(機関研究)

研究報告

東京家政大学図書館所蔵
西洋服飾史貴重資料整備について

平成 30 年 4 月 30 日

東京家政大学図書館

目 次

I. はじめに

A. 研究の背景

1. 東京家政大学の歴史と「建学の精神・理念及び生活信条に関する検討委員会」
2. 東京家政大学図書館貴重資料の収集

B. 研究の意義・目的

1. 先行服飾関連書誌目録の状況
2. 本研究の目的と意義

II. 解題集の作成

A. スケジュール

B. 資料選定・執筆

1. 出版・創刊年
2. 内容
3. 執筆

C. 編集

D. 図版選定

E. 索引作業

III. 貴重資料の考察

A. 解題集掲載資料の概略

1. オリジナル資料
 - a. 18 世紀
 - b. 19 世紀
 - c. 20 世紀
2. 研究書

B. 図版作成技法

1. エッチング
2. リトグラフ (石版画)
3. 木口木版 (こぐちもくはん)
4. ポンショワール (pochoir)

C. 画家と編集者

1. 挿絵画家
2. 編集者

D. 旧蔵書印

IV. おわりに

V. 引用・参考文献

I. はじめに

東京家政大学図書館（以下、本学図書館）では平成 7（1995）年に現在の図書館がある 10 号館の建築時、特殊資料室という名の貴重資料を収蔵する部屋を設けた。これ以降、貴重資料の収集を行ってきた。この度、2017 年度私立大学図書館協会の研究助成（機関研究）を得て、本学図書館所蔵西洋服飾史貴重資料の整備を行った。

最初に本研究の背景と意義・目的を述べる。

A. 研究の背景

1. 東京家政大学の歴史と「建学の精神・理念及び生活信条に関する検討委員会」

東京家政大学（以下、本学）は明治 14（1881）年に校祖渡邊辰五郎が「和洋裁縫伝習所」を開設したところから始まる。現東京家政大学は第二次世界大戦後の昭和 24（1949）年に設置された。

年号	西暦	校名・法人名	
明治 14	1881	「和洋裁縫伝習所」	校祖 渡邊辰五郎
明治 44	1911	改称「財団法人私立東京裁縫女学校」	校長 渡邊滋
大正 9	1920	改称「財団法人東京裁縫女学校」	
大正 15	1926	法人名改称「財団法人渡辺女学校」	
昭和 5	1930	法人名改称「財団法人渡辺学園」	
昭和 24	1949	「東京家政大学」設置	開学当初学長青木誠四郎
昭和 26	1951	法人名「学校法人渡辺学園」	

本学は建学の精神として渡邊辰五郎が唱えた「自主自律」、生活信条として青木誠四郎による「愛情、勤勉、聡明」を掲げている。本学には「東京家政大学博物館」（以下、本学博物館）がある。第二次世界大戦前までの資料は本学博物館で保管し、本学図書館では第二次世界大戦後の資料を保管することに役割分担をしている。

平成 20（2008）年に「建学の精神・理念及び生活信条に関する検討委員会」が立ち上がった。委員会では建学の精神は何であるのか、それを具現化するためにどういう事を行っているのかを明確化し、建学の精神、及び生活信条について学園全体の検討・整理・総意としてまとめられた。その際、資料整理のワーキンググループが設置され、渡邊辰五郎は本学博物館、青木誠四郎は本学図書館を中心として進められた。

2. 東京家政大学図書館貴重資料の収集

平成7(1995)年、本学図書館が新築され、「特殊資料室」が設けられた。これにより、貴重資料の収集・保管が開始された。現在4つのテーマで特殊コレクションを形成している。1つめが本学歴史的資料としての東京家政大学開学当初学長の青木誠四郎の著作物、青木誠四郎の旧蔵書を中心に若干の校祖渡邊辰五郎・渡邊滋の著作物を保管している。2つめが本学歴史的資料に関連し教育史に関する資料、3つめが児童関連貴重資料、4つめが服飾関連貴重資料である。特殊コレクション形成には図書館が新築された当初は地下書庫での所蔵資料から移行したものに加え、特殊資料室ができた時点より数点ずつ購入しコレクションの充実を図ってきた。この中でも服飾関連の貴重資料は本学家政学部服飾美術学科所属の服飾史専門教員による購入推薦や助言により、コレクション形成に努めた結果、4つのコレクションの中でも大きな割合を占めるものに成長した。次世代の研究者、図書館員にその資料価値を伝え、その活用をはかるため、内容全体の把握とその体系化・価値評価を含む整備の必要性が出てきた。初めてこれら貴重資料を手にする場合にも理解を助けられるような解題集の作成の計画が生まれた。

B. 研究の意義・目的

1. 先行服飾関連書誌目録の状況

服飾関連の書誌目録で主要な資料として以下のものが挙げられる。

- ①『リップパーハイデ服装図書館蔵書目録』*Katalog der Freiherrlich von Lipperheide'schen Kostümbibliothek. Band 1-2, Hacker Art Book, New York, 1896, 1965.*
- ②コラ『服飾とモードに関する一般書誌』*Colas, René. Bibliographie Générale du costume et de la mode, tome 1-2. René Colas, Paris, 1933.*
- ③ヒラー『服飾に関する書誌』*Hiller, Hilaire & Meyer. Bibliography of costume; a dictionary of catalog of about eight thousand books and periodicals. H. W. Wilson, New York, 1939.*
- ④文化女子大学図書館編の解題目録
 - ④-1 文化女子大学所蔵西洋服飾関係欧文文献解題・目録. 1980.
 - ④-2 文化女子大学所蔵続西洋服飾関係欧文文献解題・目録. 1990.
 - ④-3 文化女子大学所蔵欧文貴重書目録：解題・目録. 2000.
 - ④-4 文化女子大学図書館所蔵服飾関連雑誌解題・目録. 2005.

③のヒラー『服飾に関する書誌』を中心に、欧文の主要な服飾関連の書誌について平井紀子による比較研究¹があり、そこでは上記以外にMonroによる‘*Costume Index; a subject index to plates and to illustrated text.*’を取り上げているが、他の書誌より小規模

であるため、本稿では割愛する。

①はリップパーハイデ男爵により創立された図書館の蔵書目録であり、のちのコラ、ヒラーの典拠資料ともなっている。②はフランスを中心にヨーロッパ、東洋の服飾文化に関する文献を取り上げた選集目録で、図書、逐次刊行物、プレート集が対象である。③は日常着、行事・祭典・儀式などに着る特別な衣装、刺繍などの衣装装飾を解説した図書、逐次刊行物、プレート集が対象となっている¹。

下記の比較表にもある通り、収録点数の違いもさることながら、編集方針が異なっている。

書誌目録の比較

編著者名	言語	収録期間	収録点数	本体配列	索引
Lipperheide *初版	独語	～1905年まで	5064	分類体系順	著者名索引, 主題索引
Colas	仏語	～1930年初頭 まで	3121	著者名順	著者・書名混配索引 体系的分類索引
Hiller	英語	～1930年初頭 まで	8400	書名・著者、件名 等の混配配列	なし

平井紀子. ヒラー『服飾に関する書誌』の書誌的構成とその効用. アート・ドキュメンテーション研究, No. 18, 2011, p. 7. より、(Monroを除く)

④の4点の文化女子大学所蔵の文献解題・目録については佐藤俊子の論考²において作成経緯が詳しい。前述①～③の書誌目録がある中、文化女子大学所蔵の文献解題・目録の最初の刊行は邦文目録の要求に答えたものとある。文化女子大学図書館開館35周年、40周年、50周年、55周年、大学創立70周年とそれぞれの記念する年に刊行を続けた。分類体系に日本の服飾研究に適合できるような配慮がある。

これら先行する書誌目録は解題として図版付で解説するということより、掲載点数を多く取り入れることに優位性がある。

2. 本研究の目的と意義

①解題

1. で紹介した多くの書誌目録では、書誌データが中心となっている。本研究においては書誌データを中心とした目録という役割はすでに挙げた先行の諸目録に譲り、個々の資料の内容紹介に重きを置き、それぞれの解題を中心とし、資料価値についての理解につなぐことを目指した。

②カラー図版

上記資料のうち、カラー図版は書誌の冒頭の部分に数点掲載するものもある。本学図書館でまとめた解題集は掲載資料全て1点ずつカラー図版をつけ、特に主要な資料や美しい図版のものは追加図版をつけた。ファッション・ブックは手彩色などによる色彩の豊かな資料が多い。カラー図版で一連の服飾に関する資料を一覧できることは大きな意義がある。

③解題の内容

資料の内容、著者、図版の技法、図版作家、服飾研究史上の意義を中心としてまとめる。貴重資料の価値を記録し、広く西洋服飾史研究資料の理解を広め、研究の今後のさらなる発展に寄与することを目的とする。

II. 解題集の作成

解題集の作成過程について述べる。

A. スケジュール

2017年度に入り、解題集作成のスケジュールを以下の通り作成、実施した。

- 4月 資料選定、執筆要綱作成、標準レイアウトの策定、他の服飾関連書誌の確認、執筆担当の決定、執筆開始
- 7月 各資料の掲載図版の選定
- 9月 図版の撮影
- 11月 印刷業者の決定に関する学内手続き
- 12月 執筆原稿集約、図版の追加再撮影、索引作業
- 1月 校正、表紙作成
- 2月 納品・検収

B. 資料選定・執筆

服飾関連貴重資料は図書・雑誌合わせて約80点を所蔵している。その中から下記の条件を設定して、58点を選定した。

1. 出版・創刊年

図書：出版年が18世紀から1950年代まで

雑誌：創刊年が1790年から1940年代まで

2. 内容

対象：西洋の服飾、流行、民族服、演劇衣装等を主たる内容とする資料とし、テキスト

タイル（レース、刺繍を含む）は今後の機会にまとめることとし、除外した。
基準：I-B-1. に上げた書誌で取り上げられている資料を中心とし、それらから類推できる資料、取り上げられてはいないが、重要と判断される内容を備えている資料を加えた。

図版：芸術性、技術面で優れたものを中心として選定した。

3. 執筆

本学図書館長（家政学部服飾美術学科教授・当時）、他大学研究者、本学博物館学芸員、本学図書館員が担当した。

C. 編集

一つの資料につき1ページとし、必ずカラー図版を付けた。特に芸術性・技術面等で評価の高い図版や特殊な内容を表現した図版を多く含む資料については図版ページを1ページ追加した。

図版には全頁を用いたものと本文中に挿入された挿図とがある。その枚数、点数について全て現物確認を行い、明示した。

本解題集からすぐに現物へのアクセスのしやすさのため、書誌事項には所蔵情報も加えた。さらに、前述の主要服飾関連書誌目録に記載がある資料はその番号、掲載ページを明記した。

本解題集の掲載順は図書、雑誌に分け、その出版年順に並べた。図版ページを追加する資料については見開きで閲覧できるようにするため、並び順の出版年が前後するものも一部出ている。最後に資料1点1点に通しで01～58の解題番号を付与した。

D. 図版選定

各資料の分担執筆者が同資料の特徴を説明するのに最適な図版を指定した。

E. 索引作業

集められた原稿を元に、索引作業を行った。書名は和訳と欧文、人名はヨミのカタカナ表記と欧文のものを作成した。その際、書名・人名ともに書誌事項にあるものだけでなく、出版に直接関わった人物が本文中に記述されている場合はすべて索引対象とした。

索引は事項索引も作成した。資料の図版の作成技法に加え、現物確認中に第二次世界大戦前の本学旧蔵書印があるものが発見され、索引に加えた。

III. 貴重資料の考察

II. で述べたような方針、手順を踏み、『東京家政大学図書館所蔵西洋服飾関連稀観書解題集』(以下、「本解題集」という)を完成させた。その内容について概略し、貴重資料に描かれた図版の技法、図版の挿絵画家や編集者、旧蔵書印の観点から考察を試みる。

A. 解題集掲載資料の概略

本解題集では前述編集の項でも述べたが、貴重資料の掲載順は図書・雑誌で分けて、その出版年順に並べている。その内容を概説するため、本稿別表に「解題集掲載資料一覧」(以下、一覧)をつけた。本解題集掲載資料は刊行と同時代のファッション・慣習・民族服などを直接伝える「オリジナル資料」と、その「オリジナル資料」を研究対象資料とし研究・解説した「研究書」とに大きく分類される。「オリジナル資料」には雑誌が多く含まれる。別表「解題集掲載資料一覧」は掲載資料をこの2つに分類し、その中を解題集の解題番号順で一覧できるように作成した。

1. オリジナル資料

18世紀から20世紀にかけて出版年と同時期のファッションを概観できる資料がそろった。世界史や日本史と主に女性のファッションの歴史と合わせてみていく。

a. 18世紀

18世紀フランス宮廷で花開いたロココ様式はルイ16世時代に一層の華やかさをみせる。スカートを「パニエ」で膨らませ、髪は高々と結び上げられた。解題番号25『1778年から1787年までの写生によるフランス・モードと服装の図集』(Galerie des modes et costumes français dessinés d'après nature 1778-1787)には「ローブ・アラ・フランセーズ」の図版がみられる。



b. 19 世紀

ナポレオンが 1804 年に皇帝になり始まった第一帝政時代には「エンパイア・スタイル」と呼ばれるファッションが流行した。白い木綿モスリン地で、ハイウエストで直線的なシユミーズドレスを着用した。解題番号 43『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』(Journal des dames et des modes) においてエンパイア・スタイルが見られる。

ナポレオン三世の第二帝政時代は 1852 年に始まる。第二帝政期は新ロココと呼ばれる優雅なスタイルが好まれ、スカートの膨らみを出す「クリノリン」が使われるようになった。1850 年代以降になるとクリノリンの素材は鯨のひげ、針金で作られ、スカートの裾はドームのように膨らんだ。



エンパイア・スタイルの例
解題番号 43『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』



クリノリンで大きく膨らんだスカート
解題番号 46『レ・モード・パリジエンヌ』

1860 年代からは腰の後ろだけを膨らませる「バッシル」というスタイルになる。日本の鹿鳴館時代の女性がバッシルスタイルを取り入れている。

1890年代になるとアール・ヌーヴォーの影響から「Sカーブスタイル」というウエストをコルセットで締め上げ、胸と腰の曲線を強調するスタイルが流行した。



バックスルスタイル
 解題番号 45『ジュルナル・デ・ドゥモワゼル』



Sカーブスタイル 解題番号 53『レ・モード 女性のための装飾美術の図版入り月刊誌』

解題番号 45『ジュルナル・デ・ドゥモワゼル』(Journal des demoiselles) はクリノリン、バックスル、Sカーブスタイルを追うことができる。この他、解題番号 46『レ・モード・パリジェンヌ』(Les modes parisiennes illustrées)、解題番号 47『ラ・モード』(La mode)、解題番号 48『ラ・モード・イリュストレ』(La mode illustrée) などの19世紀に刊行された雑誌は刊行と同時代のファッションを確認できる。「19世紀はファッション・ブックの最盛期」といわれる³。

c. 20世紀

20世紀初頭には多くの雑誌が刊行された。本解題集では解題番号 50『フェミナ』(Femina)、解題番号 51『モード・エ・マニエール・ドゥ・ジュールデュイ』(Modes et manières d'aujourd'hui)、解題番号 52『ガゼット・デュ・ボン・トン』(Gazette du bon ton)、解題番号 53『レ・モード 女性のための装飾美術の図版入り月刊誌』(Les modes; revue mensuelle illustrée des arts décoratifs appliqué à la femme)、解題番号 54『レ・エ

レガンス・パリジェンヌ』(Les élégances parisiennes)、解題番号 55 『ラ・ギルランド』(La guirlande)、解題番号 56 『フィエ・ダール』(Feuillets d'art)、解題番号 57 『ル・ジャルダン・デ・モード』(Le jardin des modes)、解題番号 58 『アルバムフィガロ』(Album du figaro) が当時のファッションを掲載している。解題番号 49 『ヴォーグ』(Vogue)の創刊は19世紀末のアメリカであるが、1920年のフランス版創刊は活気を得るきっかけにもなった。

2. 研究書

研究書の出版により、多くの人々にとって貴重なオリジナル資料を、複製で通覧することが容易になった。服飾の流行や慣習に関する情報に対する社会のニーズがこうした出版を促したと考えられる。

本学では19世紀の復刻版のみを所蔵している解題番号 05 ヴェチェーリオ (Vecellio, Cesare) の『世界各地の古代および現代の服装について』(Costumes anciens et modernes : habiti antichi et moderni di tutto il mondo)の初版は16世紀で、そこにはおそらく彼が実際に見たり、耳にした服装を描写したオリジナルの情報も含まれているので、オリジナル資料に含める可能性も考えられるが、古代、中世の芸術作品に基づく挿絵も含まれるため、ここに分類した。本書はローマ法王から下賜された衣装を着た天正少年使節団の図版を含む。復刻版の出版は19世紀における服飾史へのニーズの高まりを表していると言えよう。



解題番号50『フェミナ』



解題番号 01 『服飾、あるいはモニュマンによって実証される古代各民族の服装と慣習に関する試論』



解題番号 05 『世界各地の古代及び現代の服装について』



解題番号 13 『世界諸国民の 19 世紀までの服飾史』



解題番号 16 『歴史に現れた服装、500 点の図版、家具、甲冑、生活用品、輸送手段、その他の多数の細部を伴う、全時代の全民族の人々の居住室内の身近な衣服と装身具の主要なタイプ』

本学所蔵資料、出版年の最古の研究書である解題番号01 レン (Lens, André Corneille) による『服飾、あるいはモニュマンによって実証される古代各民族の服装と慣習に関する試論』(Le costume ou essai sur les habillements et les usages de plusieurs peuples de l'antiquité, prouvé par les monuments) はエジプト、ギリシャ、ローマなど古代の服飾を扱っている。

古代から近代までを対象とする服飾史研究は解題04エルベ(Herbé, Charles Auguste)、解題番号06 ボナール(Bonnard, Camille)に続き、体系だてた服飾史全般を解説する重要な研究書が解題番号13 クレッチマー (Kretschmer, Albert) の『世界諸国民の19世紀までの服飾史』(The costumes of all nations from the earliest times to the nineteenth century)、解題番号15 ホッテンロート (Hottenroth, Frédéric) の『過去と現在の人々の服飾、装身具、陶磁器、武器、道具、家具等々』(Le costume, les armes, les bijoux, la céramique, les ustensiles, outils, objets mobiliers, etc. chez les peuples anciens et modernes.)、解題番号16 ラシネ (Racinet, Auguste) の『歴史に現れた服装、500点 (金銀と多色刷り300点、モノクロ濃淡刷り200点) の図版、家具、甲冑、生活用品、輸送手段、その他の多数の細部を伴う、全時代の全民族の人々の居住室内の身近な衣服と装身具の主要なタイプ』(Le costume historique, cinq cents planches, trois cents en couleurs, or et argent, deux cents en camaïeu, types principaux du vêtement et de la parure, rapprochés de ceux de l'intérieur de l'habitation dans tous les temps et chez tous les peuples, avec de nombreux détails sur le mobilier, les armes, les objets usuels, les moyens de transport, etc.) などが挙げられる。クレッチマー、ラシネはともに服飾史研究家であり、同時に図も自身で描いている。

研究書の中には民族服や舞台衣装を扱うものもある。民族服が多く刊行されたことはヨーロッパにおける世界各地への関心の高まりを表す。マックス・ティルケ (Tilke, Max) による解題番号31『東ヨーロッパ民族衣装の裁断と色彩』(The costumes of Eastern Europe) は東ヨーロッパからロシア、バルカン半島までの地域の民族服をカラープレート96枚に描かれている。ティルケの解題番号32『図説服装の歴史: ヨーロッパとヨーロッパ以外の国々の古代から現代までのすべての時代と民族服装の歴史』(A



解題番号31『東ヨーロッパ民族衣装の裁断と色彩』

pictorial history of costume : a survey of costume of all periods and peoples from antiquity to modern times including national costume in Europe and non-European countries) は古代から 19 世紀末までを対象とし、地域はヨーロッパだけでなくアジア・アフリカ・アメリカの民族服、軍服も図版にある。本資料は国書刊行会より邦訳が出ている。

B. 図版作成技法

解題集の図版を追うことで図版作成技法の歴史をたどることができる。18・19 世紀は版画、手彩色で刊行されている。版画の種類としてエッチング（銅版画）、リトグラフ（石版画）、木口木版が見られる。20 世紀になるとポショワール（英語名でステンシル）による資料が多く出るが、次第に写真版が主流となっていく。

版画技法を解説し、その技法による資料を紹介する。

1. エッチング

エッチングは銅板を版材とする版画で、繊細な線描が生み出す陰影により立体感のある描画となる。ただし、陰影を出すには製版に多大な労力と時間がかかる。

本解題集のうち、エッチングで作成された資料は多く、解題番号 02 ランテ画ガティーン彫版『セーヌ川下流の流域地方、カルヴァドス、マンシュ、オルヌ県の 105 の服装』(Cent cinq costumes des départements de la Seine inférieure, du Calvados, de la Manche et de l'Orne)、解題番号 11『服飾の記念碑のためのフローデベル原画・デュブシェ彫版の版画集』(Estampes de Freudeberg pour le monument du costume gravée par Dubouchet. (Monument du costume 1))『服飾の記念碑のためのモロー（弟）原画・デュブシェ彫版の版画集』(Estampes de Moreau de jeune pour le monument du costume gravée par Dubouchet.

(Monument du costume 2-3))、19 世紀の雑誌の解題番号 43『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』(Journal des dames et des modes) や解題番号 46『レ・モード・パリジエンヌ』(Les modes parisiennes illustrées) を始めとした



エッチングの例 解題番号 11『服飾の記念碑』

資料がエッチングで描かれている。

2. リトグラフ (石版画)

リトグラフは平板の一種で、平らな石版に油性インクや油性クレヨンで描画し、表面を硝酸ゴム液で覆い水を加える。油性の描画部分が水をはじく。そこへインクを入れて紙を充てる方法である。1820年代以降フランスの画家に愛用された技法である。画家のタッチを表現できる技法である。

本解題集では解題番号 03 ガヴァルニ (Gavarni, Paul) 『パリ通信』 (Chronique de Paris) がリトグラフで作成されているが、鉛筆のようなタッチの作品である。前述クレッチマー (解題番号 13) やホットエンロート (解題番号 15)、ラシネ (解題番号 16) の資料もリトグラフの作品である。リトグラフはエッチング同様、19世紀の資料に多用されている。



リトグラフの例 解題番号 03 『パリ通信』

3. 木口木版 (こぐちもくはん)

木版は板目木版と木口木版に分類される。板目木版は木目の方向に版木を切り、木口木版は木目に直角に切り出す。木口木版は生地が硬いため、銅版画に用いるビュランという彫刻刀を使い、細密な描画に向く。絵本や新聞・雑誌の挿図に多用され、英国の諷刺雑誌『パンチ』 (Punch or the London Charivari) も木口木版による。本解題集でもファッション・プレートはリトグラフを用い、挿図は木口木版によるものが散見された。

木口木版による資料として、解題番号 05 ヴェチェーリオ (Vecellio, Cesare) の『世界各地の古代及び現代の服装について』 (Costumes anciens et modernes : habiti antichi et moderni di tutto il mondo) が挙げられる。ま



木口木版の例
解題番号 48 『ラ・モード・イリュストレ』

た、解題番号 15 ホッテンロート (Hottenroth, Frédéric) の『過去と現在の人々の服飾、装身具、陶磁器、武器、道具、家具等々』(Le costume, les armes, les bijoux, la céramique, les ustensiles, outils, objets mobiliers, etc. chez les peuples anciens et modernes.)及び解題番号 48 『ラ・モード・イリュストレ』(La mode illustrée) は挿絵が木口木版で描かれている。

4. ポショワール (pochoir)

英語ではステンシル、フランス語でポショワールという。紙や金属板に切り抜いた図柄や文字を刷り出す方法で、版画、染織、工業用簡易印刷などに用いられる。合摺(かっぱずり)や、透し型による型染めもステンシルの一種であり、ヨーロッパでは16世紀以来、木版画の簡単な彩色法として、遊戯用カードや民衆版画に使用された。

ポショワールは芸術性の高い手法とはみなされていなかったが、浮世絵や型染の影響が高まる中で、版画職人ジャン・ソーデが改良して洗練させ、20世紀初期の芸術表現にふさわしい技法としてブームとなった。

ソーデ以降の20世紀初頭の手の込んだポショワール技法は、英語でもステンシルではなくポショワールと呼んで過去のものとして区別している⁴。

ポショワールによるファッション・プレート付きの雑誌の創刊が1912年以降相次いだ。『ジュルナル・デ・ターム・エ・デ・モード』、解題番号 52 『ガゼット・デュ・ボン・トーン』、解題番号 51 『モード・エ・マニエール・ドール・ジュールデュイ』、解題番号 55 『ラ・ギルランド』が4大誌と言われる。本学図書館ではそのうち3誌を所蔵し、本解題集で取り上げた。なお、ポショワールの時代の『ジュルナル・デ・ターム・エ・デ・モード』は解題番号 43 『ジュルナル・デ・ターム・エ・デ・モード』(1797-1848年刊行)のタイトルを冠して刊行された異なる資料であ



ポショワールの例
解題番号 55 『ラ・ギルランド』

り、本学では未所蔵である。

C. 挿絵画家と編集者

1. 挿絵画家

19世紀の挿絵画家としてルイ-マリー・ランテ (Lanté, Louis-Marie) を取り上げる。本解題集では解題番号 02 『セーヌ川下流の流域地方、カルヴァドス、マンシュ、オルヌ県の 105 の服装』 (Cent cinq costumes des départements de la Seine inférieure, du Calvados, de la Manche et de l'Orne) を紹介している。彫版はジョルジュ-ジャック・ガティエヌ (Gatine, George-Jacques) による。ランテは水彩画でも風景画を得意とする挿絵画家で服飾に関する作品も多い。編集者のメザンジュール (後述) により、ランテは解題番号 43 『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード』 (Journal des dames et des modes) に採用された。また、ランテは解題番号 38 『ル・ボン・ジャンル』 (Le bon genre)、解題番号 47 『ラ・モード ; 優雅な社会の雑誌』 (La mode ; revue du monde élégant) にも参加している。



ランテ 解題番号 02 『セーヌ川下流の流域地方、カルヴァドス、マンシュ、オルヌ県の 105 の服装』

20世紀は「アール・デコ・イラストレーションの四天王」といわれる挿絵画家がいる。ジョルジュ・ルパップ (Lepape, Georges)、ジョルジュ・バルビエ (Barbier, George)、シャルル・マルタン (Martin, Charles)、アンドレ・エドゥール・マルティ (Marty, André Edouard) である。いずれも 20 世紀に刊行されポショワールによる雑誌に多くの作品が見られる。前述で紹介した 4 大誌のすべてに寄稿しているのがシャルル・マルタンとジョルジュ・バルビエである⁵。



マルタン 解題番号 51 『モード・エ・マニエール・ドージュルデュイ』



バルビエ 解題番号 51 『モード・エ・マニエール・ドージュルデュイ』

2. 編集者

19世紀の編集者ではピエール・ド・ラ・メザンジェール (Mésangère, Pierre de la) を取り上げる。本解題集では解題番号 38 『ル・ボン・ジャンル』 (Le bon genre) は1827年版版画集の復刻版であるが、1827年版をメザンジェールが編集している。また、メザンジェールは解題番号 43 『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード (フランクフルト版)』 (Journal des dames et des modes) のオリジナルであるパリ版の編集にも参加している。『ジュルナル・デ・ダーム・エ・デ・モード (パリ版)』は服飾誌史上最も重要なファッション雑誌の一つである。

20世紀ではリュシアン・ヴォージェル (Vogel, Lucien) に着目したい。ヴォージェルは本解題集



解題番号 38 『ル・ボン・ジャンル』

では解題番号 49『ヴォーグ』(Vogue)、解題番号 50『フェミナ』(Femina)、解題番号 52『ガゼット・デュ・ボン・トン』(Gazette du bon ton)、解題番号 57『ル・ジャルダン・デ・モード』(Le jardin des modes) を手掛けた編集者である。解題番号 56『フイエ・ダール』(Feuillets d' art) については休刊に対し復刊の助力にあたった。20 世紀初期に刊行されたファッション雑誌の多くに携わっている。

これらの中でも『ガゼット・デュ・ボン・トン』はヴォージェルの独創的、革新的なアイデアにより創設され、20 世紀初期を代表する極めて重要な雑誌である。当時のパリではやったオート・クチュールがデザインした作品を前述のジョルジュ・ルパップ、ジョルジュ・バルビエ、シャルル・マルタン、アンドレ・エドゥワール・マルティを始めとした挿絵画家がモード画を描いた。ほぼポショワールによる彩色である。ファッション・プレートを毎号挿入して刊行した。



「ポール・ボワレ店の服」 解題番号 52 『ガゼット・デュ・ボン・トン』

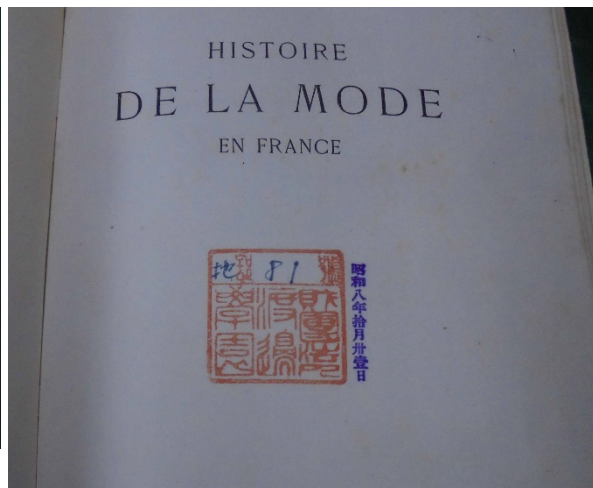
メザンジェールとランテ (解題番号 38, 43)、ヴォージェルとバルビエ、ルパップ、マルタン、マルティらの組み合わせ (解題番号 49, 50, 52, 56) はそれぞれの時代の資料の中で、きわめて芸術性の高い図版であることが確認できる。

D. 旧蔵書印

第二次世界大戦前までの本学旧蔵書印は以下の写真のとおり 2 種あった。



旧蔵書印 「財団法人渡邊女学校蔵」



旧蔵書印 「財団法人渡邊学園」
「昭和八年拾月Ⅲ壹日」と日付がある。

本学は I. はじめにでも述べたが、明治期から昭和前期まで改称が度々行われた。財団法人渡邊女学校は大正 15 (1926) 年から昭和 5 (1930) 年、財団法人渡邊学園は昭和 5 (1930) 年から昭和 26 (1951) 年までの法人名である。それぞれの旧蔵書印があったものは以下の 8 点であった。

財団法人渡邊女学校蔵印 5 点

解題番号 09 Planché, James Robinson. A cyclopædia of costume or dictionary of dress, including notices of contemporaneous fashions on the continent : and a general chronological history of the costumes of the principal countries of Europe, from the commencement of the Christian era to the accession of George the Third. 2v. 1876-1879.

解題番号 15 Hottenroth, Frédéric. Le costume, les armes, les bijoux, la céramique, les ustensiles, outils, objets mobiliers, etc. 2v. [1885?].

解題番号 22 McClellan, Elisabeth. Historic dress in America, 1607-1800. 2v. 1904-1910.

解題番号 29 Houston, Mary Galway, Hornblower, Florence S. Ancient Egyptian Assyrian and Persian costumes and decorations. 1920.

解題番号 35 Chadwick, Luie M. Fashion drawing & design : a practical manual for art students and others. 1926.

財団法人渡邊學園 3 点

解題番号 12 Challamel, Augustin. Histoire de la mode en France : la toilette des femmes depuis l'époque gallo-romaine jusqu'à nos jours. 1881.

解題番号 23 Webb, Wilfred Mark. The heritage of dress : being notes on the history and evolution of clothes. 1907.

解題番号 31 Tilke, Max. Le costume de l'Europe orientale. 1926.

本学校祖渡邊辰五郎の長男渡邊滋がアメリカのシカゴに留学したのが、明治 33（1900）年から明治 35（1902）年であった。帰国後に渡邊滋は洋服裁縫科主任となり、「新式洋服裁縫」の指導を開始している⁶。上記 8 点の入手経路は不明であるが、8 点全てが研究書であることから旧蔵書印のある資料は当時の参考資料であったことが想定される。

かつて創立者の著作物の調査をする機会があったが、旧蔵書印などからその資料と創立者の著作物の関連については検討する機会はなかった。本研究にて得られた結果は渡邊滋の著書と比較し、渡邊滋が受けた影響を比較研究する好資料となる。

IV. おわりに

本学図書館が新築されてから、1 つの特殊コレクションとして定め収集を続けてきた西洋服飾関連の貴重資料ではあるが、今回の調査でコレクションの源流は本学創立者に関わるところに遡ることがわかった。また、コレクションの中でも編集者と挿絵画家のとの絶妙な組み合わせによる資料構築についても確認された。コレクション構築は何代にもわたり、西洋服飾関連の分野を切り開いてきた研究者と図書館とが共同で本学に残した財産である。本解題集は次世代にもこの財産の価値が初学者にもわかりやすい平易な解説と、資料同士の関連性を示すことが出来たと思う。

コレクション構築は引き続き西洋服飾関連貴重資料の収集を続けさらなる研究への寄与を企ててゆく所存である。今後は本コレクションのデジタル・アーカイブ化についても尽力していきたい。

最後になりましたが、本解題集作成に関わった全てのかたがたに心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

V. 引用・参考文献

引用文献

- 1 平井紀子. ヒラー『服飾に関する書誌』の書誌的構成とその効用：西洋服飾分野の主要な書誌の比較. アート・ドキュメンテーション研究, No. 18, 2011, p. 3-11.
- 2 佐藤俊子. 西洋服飾関連コレクション構築の状況と目録作成の変遷. 情報の科学と技術, Vol. 57, No. 12, 2007, p. 575-580.
- 3 能澤慧子. “ファッション・プレートとファッション・ブックの歴史”. 「ファッション史の愉しみ」読本. 世田谷美術館, 2016, p. 12-24.
- 4 和南城愛理. “一九世紀の版画とファッション・プレート”. 「ファッション史の愉しみ」読本. 世田谷美術館, 2016, p. 44-48.
- 5 鹿島茂. モダン・パリの装い：19世紀から20世紀初頭のファッション・プレート. (鹿島茂コレクション 3). 求龍堂, 2013.
- 6 東京家政大学博物館編. 西洋服装史：19世紀ヨーロッパのドレスを中心に. 2012.

参考文献

- 1 オックスフォード西洋美術事典. 講談社, 1989.
- 2 日本大百科全書 (ニッポニカ), JapanKnowledge, <https://japanknowledge.com>, (参照 2018-04-13).
- 3 伊藤紀之. ファッションプレートへのいざない. フジアート出版, 1991,
- 4 能澤慧子監修. 史上最強カラー図解世界服飾史のすべてがわかる本. ナツメ社, 2012, 239 p.
- 5 鹿島茂. バルビエ×ラブルール：アール・デコ、色彩と線描のイラストレーション. (鹿島茂コレクション 2). 求龍堂, 2012.
- 6 益田祐作. リュシアン・ヴォージェールとガゼット・デュ・ボン・トン. 美術史研究, No. 5, 1967, p. 59-72.